



都市空間での群衆の動きから怪しいものだけを自動的に見つけ出す。東大大学院の藤野陽三教授(56)＝社会基盤学＝らのグループは、三菱電機と連携してこんな研究をしている。

正常な行動とそうでない行動との違いは何か。これまで人はそれを直感や経験

「逸脱」を判別

で判別してきたが、システム化するのには容易でない。プライバシーの問題もあり「道は長い」と話す。

ただ、実現すれば病院でベッドから落ちた患者や火災で逃げ遅れた人の察知も。みな「正常からの逸脱だから」だ。(大塚晶)
(次は「防寒グッズ」)

監視する技術⑥

仕事人 232

朝日新聞 2006年1月21日(夕刊)